

シンポジウム

野尻高原大学村  
創立60周年  
記念事業

森と共に生きる

# 「里山化楽工房」を信濃町に

— 足元の森を持続循環的に活用し、確かな未来を続く世代へ —

2025 9 / 27 sat. 13:30-16:00  
信濃町立黒姫童話館ホール

私たちの暮しや生を享受する土台である地球生命系が悲鳴を上げ、多くの生物の急劇な絶滅、気候変動、災害の頻発・激甚化などとして深刻化しています。地球の“環”の中の一つに過ぎない私たち人間のあり様が大きく道を踏み外し、自然から離れるばかりの姿の反映であると見なされます。そのような中、地球や続く世代に顔向けができる近未来を拓くために、多様な“自然回帰”の取り組みが模索されています。

信濃町は森と湖に恵まれた自然豊かな類稀な地域と言えます。この信濃町から地球と地域が豊かになる近未来へのスタートが切れないでしょうか。折りしも、信濃町にお世話になっている一般社団法人野尻高原大学村は創立60周年を迎えました。地域社会に開かれた「村」を目指し、森と共に生きる未来の形として「里山化楽工房」構想を紹介し、新たな里山創生へのキックオフとして、本シンポジウムを企画しました。

- 開会挨拶 木村 文三(野尻高原大学村 理事長) 鈴木 文雄(信濃町 町長)
- 趣旨説明 田中 克(野尻高原大学村 理事)
- 講演1 「新たな森林化学産業の創出で地域を元気に—「里山化楽工房」の勧め」  
中村 正治(京都大学化学研究所 教授)
- 講演2 「森の“魔法使い”フルボ酸の人工生産とその活用」  
孫 恩喆(株式会社TSK 社長)
- 講演3 「牛の共生細菌を活用した“雑草発電”の開発と普及」  
馬場 保徳(石川県立大学生物資源工学研究所 准教授)
- 講演4 「森林化学産業への挑戦」  
北川 友紀((株)ダイセル 研究開発本部 バイオマスイノベーションセンター所長)
- 質疑・意見交換

プログラム

主な登壇者

